

事務事業評価表（一般事業）

| | |
|------------|----------|
| 評価対象年度 | 平成 28 年度 |
| 1次評価日（主幹等） | 29年3月31日 |
| 2次評価日（課長等） | 29年5月31日 |

| | | | | | |
|-------|----------|--|--|-----|--------|
| 1 事業名 | 行政改革推進事務 | | | コード | 163101 |
|-------|----------|--|--|-----|--------|

| | | | | | | |
|--------|----|-------|----|-----|-----|-------|
| 2 担当部課 | 部等 | 企画政策部 | 課等 | 企画課 | 作成者 | 矢崎 義人 |
|--------|----|-------|----|-----|-----|-------|

| | | | | | |
|---------------|----------|---------------|-------------|------|----------------|
| 3 事業概要 | 目的 体系 | 基本目標 | 総合計画の推進に向けて | | |
| | 政 策 | 総合計画の推進に向けて | 施 策 | | |
| | 予算科目 | 行政改革推進事務費 | | 業務委託 | 将来を見据えた行政経営の推進 |
| | 実施義務 | あり（義務的・標準的事業） | | 国県補助 | なし |

●事業の内容（D0）

| | | |
|-----------------------|-----|---|
| 4 事業の概要等 | | * 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか） |
| 事業の概要 (簡潔に) | | 行財政改革を推進するため、「岡谷市行財政改革3か年集中プラン」の適切な進捗管理を行うとともに、行政評価を実施し、改革・改善に取り組むとともに、さらなる行財政改革へ取り組む。また、第6次定員適正化計画に基づく、組織・職員定数の管理により効率的な行政運営を行う。 |
| 目的 | 対象者 | 市民 |
| | 意 図 | 行財政改革を進め、効果的・効率的な行政運営を行い、財政規模に見合った特色あるまちづくりを推進できる行財政基盤の確立を図る。 |

| | | |
|------------------|---|--|
| 5 事業の実施内容 | | * 28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容 |
| 1 行財政改革プランの進行管理 | (1) 岡谷市行財政改革長期実施計画（H24～27年度）を推進し、平成27年度の取組状況に加え、長期実施計画期間の総括及び公表、新たな行財政改革3か年集中プランの平成28年度の各課の行動計画の取りまとめなど進行管理を行った。 ・平成27年度の進捗率：86.6%（97項目中84項目を完了・実施（未達成を除く）） (2) 行政改革審議会（会議2回 委員15名） ・行財政改革プラン長期実施計画の取組状況や新たな行財政改革3か年集中プランの行動計画の他、次年度予算の重点施策などを報告するとともに、行政改革に関する重要事項などの審議を行った。 | |
| 2 行政評価の実施 | (1) 事務事業評価 職員の意識改革、事務事業執行の改革改善を目的に実施し、全件を公表した。評価結果は、平成28年度に事務事業を行う際に活用した。 ・評価件数：288件（平成27年度に実施した全事務事業（事後評価）） (2) 施策評価 重要性の低い事業の休廃止・事業の優先順位付けを目的に実施し、全件を公表した。評価結果は、平成29年度予算編成・組織検討の際に参考とした。 ・評価件数：41件（平成27年度に実施した全施策（事後評価）） (3) 外部評価 市が行っている事務事業について「市の関与の必要性」「基本目標に対する貢献度など、有効性・妥当性」「コストなどの効率性」の視点から、外部・市民の目線により事業そのものの必要性やあり方の検証を行い、事業の再構築に結びつけるとともに、事業内容の市民周知を目的として実施し、9月28日に報告書を提出した。なお、市の予算編成等における検討内容については平成28年3月22日に委員会に報告した。 ・評価件数：6事務事業（第4次岡谷市総合計画 基本目標4(教育分野)を構成する事務事業） (4) 指定管理者制度 岡谷市公の施設指定管理者選定等審議会（会議2回 委員5名） ・第三者の視点から客観的な立場でのモニタリングを実施し、3月10日に報告書を提出した。 モニタリング実施日：11月28日 対象施設：岡谷市スポーツ施設（6施設） | |
| 3 組織定員管理 | (1) 組織管理（平成28年4月組織改正） ・現行の組織体制を基本としつつ、第4次岡谷市総合計画後期基本計画の着実な推進と、新たな行政課題への対応や市民ニーズ等に迅速かつ的確に対応できる組織の構築を図った。 | |

- ・職制の見直しでは、将来的に課長補佐制度の導入を見据えた組織の構築に向け、「統括主幹」の職を設けた。また、会計管理者については、指揮系統がわかりやすくなるよう課長級を配置することとした。
- ・公共施設等総合管理計画の推進に関する業務を、組織を横断して取り組む体制を構築するため、組織規則第13条に基づく組織（特別に編成する組織）として、企画政策部内に「公共施設総合管理室」を設置した。
- ・組織のスリム化を図るため、秘書室と広報情報課を統合して「秘書広報課」とした。また、G I S推進室は、一定の構築が図られたことから「情報推進担当」へ統合した。このことにより、秘書広報課は、「秘書」、「広報広聴」、「情報推進」の3担当とした。
- ・組織のスリム化を図るため、業務の関連性の強い市民生活課と環境課を統合して「市民環境課」とした。このことにより、市民環境課は、「戸籍・住民記録」、「年金・市民サービス」、「安全・衛生」、「資源化」、「環境保全」の5担当とした。
- ・平成29年1月開催の、冬季国体アイスホッケー競技会の開催に向け、教育委員会内に「冬季国体推進室」を設置した。

(2) 定員管理（一般会計・特別会計等）

- ・平成28年度予算定数は、第6次定員適正化計画増減数12人の削減に対し、事務事業の見直し等により19人の削減を図ったが、一方で、国の制度改革への対応等により、7人増員し415人とした。
- ・平成29年度に向けた取組として、組織の検討と並行し、全ての課等に対して調査、ヒアリングを実施し、各課等の業務量や必要な職員数を把握した。

| | |
|------------|--|
| 前年度の課題への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・特に予算編成時に、行政評価の目的について周知を図り、職員の意識改革につなげことができたものの、抜本的な事務事業の見直しにはつながらなかった。 ・第三者モニタリングの実施により、指定管理者及び市担当職員のモニタリングに対する考え方が徹底されてきており、計画的な事業推進につながっている。 |
|------------|--|

6 指標の達成状況

* 活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

| 区分 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度(予算) |
|---------------|--|-------|--------|----------|
| ① 活動指標（指標名） | 「岡谷市行財政改革プラン」実施計画の進行管理件数 | | | 単位 件 |
| 実績値 | 97 | 97 | 62 | |
| * 指標の説明 | 行財政改革プラン長期実施計画で定めた事業の件数 | | | |
| ② 成果指標（指標名） | 「岡谷市行財政改革プラン」実施計画の進捗率 | | | 単位 % |
| 目標値 | 63.9 | 100.0 | 54.8 | 64.5 |
| 実績値 | 58.8 | 86.6 | 75.8 | |
| 達成度 | 92.0% | 86.6% | 138.3% | |
| * 指標の説明 | 行財政改革 プランで、目標を達成した項目の割合 (H24-H27長期実施計画) | | | |
| * 目標値の設定方法の説明 | 行財政改革 プランの各実施計画で示した各年度の取組予定の状況（実施、推進、検討） | | | |

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

| 補助金負担金名 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度(予算) |
|------------|---------|---------|---------|----------|
| ① 直接事業費 | 274,837 | 433,986 | 219,100 | 339,000 |
| 経常経費 | 274,837 | 150,486 | 219,100 | 339,000 |
| 臨時の経費 | 0 | 283,500 | 0 | 0 |
| * 臨時の経費の説明 | | | | |

| 補助金負担金名 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度(予算) |
|---------------|------------|------------|------------|------------|
| ② 人件費 | 14,400,000 | 14,400,000 | 14,400,000 | 14,400,000 |
| 正規職員の人数（人） | 1.80 | 1.80 | 1.80 | 1.80 |
| ③ 合計コスト（①+②） | 14,674,837 | 14,833,986 | 14,619,100 | 14,739,000 |
| 前年度比 | | 101.1% | 98.6% | 100.8% |
| 財源 内訳 | 一般財源 | 14,674,837 | 14,833,986 | 14,619,100 |
| | 特定財源 | | | 14,739,000 |
| * 特定財源の説明 | | | | |
| ④ 活動一単位あたりコスト | 151,287 | 150,005 | 235,792 | |
| 前年度比 | | 99.2% | 157.2% | |
| ⑤ コストに関する補足説明 | | | | |

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

| 補助金負担金名 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度(予算) |
|---------------------------|-------------|-------|-------|----------|
| 件数 | | | | |
| 金額 | | | | |
| 件数 | | | | |
| 金額 | | | | |
| 件数 | | | | |
| 金額 | | | | |
| 件数 | | | | |
| 金額 | | | | |
| ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合 | 合計金額 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 割合 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.00% |

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性 高い

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---|----|-----|
| ① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。 | 1 | |
| ② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。 | 1 | |
| ③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。 | 1 | |
| ④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。 | 1 | |
| ⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。 | 1 | |

9 有効性評価

* 有効性=成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。

有効性 高い

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---|----|-----|
| ① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。 | 1 | |
| ② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。 | 1 | |
| ③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。 | 1 | |
| ④ この事業の利用者が増加した。 成果指標の実績値 前年度比 87.5% 1 0 | 1 | 0 |
| ⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 成果指標の目標値 達成度 138.3% 1 | 1 | |

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

| | |
|--------|---|
| 課題 | (少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) ・平成28年度から、新たな行財政改革プラン「行財政改革3か年集中プランH28～H30」がスタートした。数値目標として、「職員定数 427人→401人」「公共施設の延べ床面積 304,240.21m ² →286,000m ² 」「基金残高 21億円→20億円」「地方債現在高 254億円→240億円」を定めている。計画期間が短いことから、着実に成果を残すための取組が必要。 |
| 改善方法 | (上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 基本方針である「健全財政を堅持するための行財政基盤の構築に向けて」を踏まえ、歳入確保、歳出削減、公共施設等総合管理計画の推進、組織の活性化と人材育成の推進、公営企業・外郭団体等の健全経営化を図るため、全職員が共通認識を持ちながら、プランにある62の実施項目の目標達成を目指す。 |
| 改善開始時期 | H28年度～ |

●次年度の計画 (PLAN)

| | | | |
|-----------|--------|---|--|
| 11 次年度の方針 | 継続して実施 | 12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること | |
|-----------|--------|---|--|